

グローバル展開プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題:「グローバル化する世界における社会的分断の研究」

◆研究テーマ:「グローバル化のなかの都市分断と社会的紐帯に関する近隣効果の国際比較研究」

研究期間:R1.10~R4.3

委託費総額:25,025千円

<研究代表者>

川野英二:大阪市立大学大学院文学研究科/教授

<専門分野> 社会学

<Webページ>

<https://researchmap.jp/read0068669>



<研究目的・概要>

・社会的分断は都市内の格差や分断として具体化するが、国の制度・政策によって形態が異なる

個人特性とは独立した「近隣効果」のメカニズムも、各国の制度・政策のあり方(レジーム)によって異なる?

- ・都市・住宅政策、セグリゲーション(分断)の国際比較
- ・海外の近隣効果プロジェクトと連携し、「大阪近隣効果研究プロジェクト(ONER)」の立ち上げ
- ・大阪都市圏を対象に実態調査を実施、近隣効果のメカニズムを検証

国際比較の観点からの都市分断と「近隣効果」のメカニズムの解明および日本における近隣効果研究の海外発信と国際的な水準への展開・強化

<研究計画の特徴>

●調査分析:

- 1) 都市政策と都市分断との関連の国際比較
- 2) 大阪都市圏の調査と近隣効果の分析

●国際的なネットワーク構築と協働

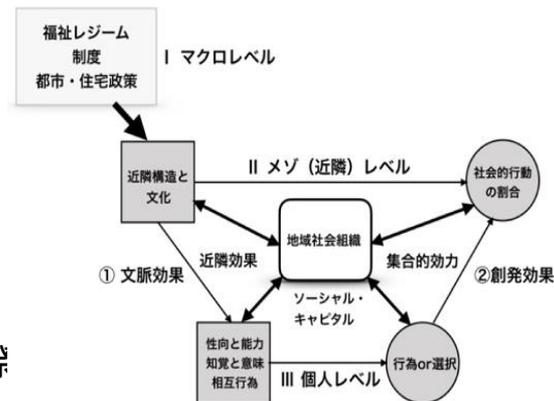
- 1) 各国の統計・調査データ、指標の比較可能性を検討
- 2) 海外の共同研究者の招聘、国際シンポジウムの開催

●海外の研究環境の中で協働

- 1) 海外研究プロジェクトと連携、データ・分析の比較検討
- 2) 若手派遣、国際セミナー・シンポの開催

<目標とする研究成果>

- 1) 国際比較を踏まえた「近隣効果」の総合的な分析モデルの提案と検証
- 2) ウェブでワーキングペーパー、海外雑誌への掲載による海外発信と国際連携



<将来展望>

グローバル都市における社会的分断に対応する地域ベースの社会的連帯を構想